

新型コロナウイルス感染拡大防止対策 (8.24 改訂版)

松戸市立栗ヶ沢小学校

基本姿勢：3密を防ぐ対策と3密を避ける指導の徹底

1 3密（密閉、密集、密接）が発生しないよう配慮します。

＜密閉について＞ *窓、扉を開け、こまめに換気します。

常時、教室の窓、扉、廊下の窓を開けて換気を行います。エアコンの使用時にも窓を開け換気をします。体育館や特別教室においても同様な対応をします。換気のできない部屋は使用しません。

＜密集について＞ *多くの人が集まる場面を作らない工夫をします。

登下校時は、密にならないよう職員が昇降口付近で指導をします。トイレは、学年ごとに決まった場所を使用し、トイレ内が密にならないよう廊下に並んで待つなどの配慮をします。委員会活動など、複数名で集まる活動を行う場合は、十分に間隔のとれる場所を使用し、できる限り短時間で行います。

集会等を行う場合は、以下の条件を付加して実施します。

《条件》身体的距離1m以上、マスク着用、十分な換気、最長1時間程度

集団での合唱等、飛沫の想定される活動は行わない。

以上の条件が確保できない場合（全校での集会など）は実施しません。

＜密接について＞ *他の人と距離を保って生活します。

教室の児童の机は、可能な範囲で離して配置します。学校内では、ソーシャルディスタンス（おおよそ1m以上）を保ち生活するよう指導します。長時間密接する可能性のある教育活動は行いません。

2 手洗い・咳エチケットについては、次のように指導します。

＜手洗いについて＞ *手の洗い方やこまめに手洗いを行うことを指導します。

登校後など外から教室に入る時やトイレの後、給食の前後など、こまめに石けんで手を洗うように指導します。タオルやハンカチは、共用しないように指導します。

校内で共用する用具や備品については、使用後は必ず手を洗うよう指導します。

＜咳エチケットについて＞ *マスクの着用を含む咳エチケットについて指導します。

マスクの着用をお願いします。ハンカチ、ポケットティッシュ、ビニール袋を持たせてください。使用済みのティッシュペーパー等は、ビニール袋に入れて持ち帰ります。

マスクを床に落としてしまったり、汚してしまった場合の予備のマスクを持たせてください。

＜消毒について＞ *ウイルスの付着による感染を防ぐために消毒を実施します。

下校後、ドアノブ、水道の蛇口、階段の手すりなど、多くの児童が手を触れる箇所については、次亜塩素酸ナトリウム液等を使用し、消毒をします。

3 学習活動については、次のように行います。

＜授業について＞ *感染拡大防止対策を講じながら実施します。

児童の密集、密接を避け、可能な限り感染拡大防止対策を行った上で実施していきます。授業内容等によって、感染拡大防止対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動については、実施について慎重に検討します。

＜教材・教具について＞ *共用で使用する場合は、使用前後に手洗いを行います。

できるだけ個人の教材教具を使用し、児童同士の貸し借りはしないよう指導します。器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後に石けんで手を洗うよう指導します。

4 授業以外の教育活動については、次のように行います。

＜給食について＞ *感染リスクに配慮しつつ、適切な栄養摂取・食生活を支援します。

給食の前後に、石けんでしっかりと手を洗うよう指導します。配膳代は、使用前後に職員が消毒をします。会食にあたっては、机を向かい合わせにしない、会話は控えるなどの配慮をします。また、給食の配膳を行う児童及び職員は、健康状態や服装等、給食当番活動が可能であるかを毎日点検し、適切でないと認められる場合は、給食当番を代えるなどの対応をします。

＜清掃活動について＞ *学校内の環境衛生を保つために工夫しながら取り組みます。

清掃場所が密にならないように、できる限りソーシャルディスタンスを保ち、無言で取り組むよう指導します。清掃後は、石けんでしっかりと手を洗うよう指導します。トイレの清掃については、使い捨てのビニール手袋を着用して行います。

＜部活動及びクラブ活動について＞ *感染拡大防止対策を講じながら実施します。

学習活動と同様に3密を防ぐなどの感染拡大防止対策を講じた上で実施します。

部活動については、「小学校部活動再開ガイドライン（松戸市教育委員会）」に沿って実施します。

5 心のケア、偏見や差別への指導を次のように行います。

＜心のケアについて＞ *登校できない児童を含め、きめ細かな支援に努めます。

学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細かな健康観察や健康相談を行い、児童を支援します。登校できない児童についても家庭との連絡を密にとり支援します。

また、栗ヶ沢中学校のスクールカウンセラーへの相談窓口となりますので、希望される場合は教頭までお申し出ください。

＜偏見や差別について＞ *いじめゼロをめざした指導を継続して行います。

感染者や濃厚接触者、医療従事者とその家族等に対する偏見や差別につながるような行為は、断じて許されないものです。新型コロナウイルス感染症に関する適切な知識を基に、発達段階に応じた指導を行うことなどを通じて、偏見や差別、いじめ等が生じないようにします。ご家庭でもご指導ください。

6 その他、登校に関することは次のようにお願いします。

- ・欠席等の連絡は、電話にてお願いします。他の児童に連絡帳で伝えることはしないようにお願いします。学校からの連絡も直接、担任から行います。
- ・本人及び同居人に発熱や風邪の症状等がある場合は、自宅療養し登校は控えてください。また、感染等の不安など家庭の事情により登校できない場合は、学校にご連絡ください。いずれの場合についても、欠席扱いとはなりません。
- ・医療的ケアを必要とする児童や基礎疾患のある児童については、主治医や医療ケア指導医等に相談の上、登校の判断をしてください。なお、その際に登校すべきでない判断された場合については、学校にご相談ください。
- ・児童及び同居人が感染、または濃厚接触者になった場合や PCR 検査を受ける場合は速やかに学校にご連絡ください。
- ・児童が在校中に、児童および学校職員、またはその同居人に陽性者が確認された場合は、引き渡しによる下校となる場合がありますのでご協力をお願いします。
- ・夜間や休日に児童及び同居人に陽性が判明した場合や新型コロナウイルス感染症に関することで、緊急に連絡が必要なことが生じた場合は、「新型コロナウイルス感染拡大防止専用電話」に連絡してください。 専用電話 070-2483-8494

7 感染拡大防止対策について、ご家庭の協力をお願いします。

- ・毎朝、検温と健康観察を行い、登校時に健康観察カードの持参をお願いします。
- ・マスクの着用、予備のマスクの持参をお願いします。また、熱中症対策のための登下校時のマスクの着脱について、ご家庭でもご指導ください。
- ・ハンカチ、ポケットティッシュ、ビニール袋（使用済みティッシュ持ち帰り用）、給食で使用する、箸・スプーンを必ず持たせてください。
- ・学校で具合が悪くなった場合は、発熱の有無にかかわらず早退をお願いします。保護者に連絡いたしますので、お迎えにご協力ください。
- ・保護者が来校する場合は、必ずマスクを着用し職員玄関からの入室をお願いします。また、来校の際には、学校ホームページから健康チェックシートをダウンロードしていただき、ご記入の上、ご持参ください。（健康チェックシートは事務室にもありますので、その場でも記入できます）
- ・ご家庭でも、手洗い・うがいの励行・咳エチケット等の徹底をお願いします。
- ・ソーシャルディスタンスや「新しい生活様式」について、ご家庭でも意識して生活していただくようご協力をお願いします。

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策

～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

1 毎日の健康観察

- ・毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
- ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- ・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。



2 手洗いの励行

- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）



3 咳エチケットの徹底

- ・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



4 3密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

○「密閉」の回避

- ・こまめな換気
気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。

○「密集」の回避

- ・身体的距離の確保
飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

○「密接」の回避

- ・マスクの着用
外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。
室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。



★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。